もおか若者会議２班　テーマ：真岡木綿（生産、活用など）

# 【真岡木綿で真岡市をひとつに】

## ①選んだ理由

江戸時代

**木綿　＝　真岡**

歴史的にも価値がある
真岡ならではの地域資源

【でも、今は・・・】

・よく分からない
・若い人は興味がない
・なんか高そう

「真岡木綿」の魅力は
あまり知られていない？

今年度、「草木染見本帖」で
グッドデザイン賞を受賞するなど
外部からの評価を受けている。

この機を活かして
ブランド化を図る！

## ②将来像

**真岡木綿の認知度向上**

真岡木綿が広く知られ、
身近なものになることで
全国的な需要が生まれる

**真岡木綿の保存、振興につながる**

認知度があがり、収益があがれば、
織姫さんのなり手も増えることで、
保存・振興につながる

**真岡市のＰＲにつながる**

真岡木綿が観光資源の１つとして
再評価されることで、真岡に訪れる人が増えるため、
真岡市の魅力発信にも寄与する

実現するためには、
「真岡木綿」を知る
ことが必要！

## ③視察結果

【真岡木綿工房へ視察を実施し、分かったこと】

①商品化は思った以上に難しい
・昨年度の提案として、Ｔシャツなどの開発などをあげたが、
　Ｔシャツの作りが真岡木綿の生地とは合わないため商品化は難しい
・また、商品化できるアイデアがあっても、商品を縫製してくれる
　人がいないなど人材面での課題もある

など課題がある

②織姫さんは真岡木綿の振興のため
　いろんなことにチャレンジしている
　・新しい木綿のデザインを学ぶために、
　　講師を呼んで研修等を行われている

③簡単な糸紡ぎ体験など、真岡木綿を知
　るきっかけをつくるイベントを企画で
　きそう

## ④企画

【自分たちで企画する事業】

○糸紡ぎや機織り体験といった
　イベントやワークショップの実施

○真岡木綿のＰＲ
（グッドデザイン賞や真岡も木綿の
　価値についての広報　など）

実現するためには、
織姫さんとの連携が不可欠
織姫さんとの連携を検討

【その他の考えられる事業】

○小学校、中学校
・学校単位での真岡木綿の栽培や真岡木綿の体験　など

○市民、企業など
・真岡木綿の種まき、木綿の収穫などのお手伝い　など

**「真岡木綿」という共通テーマで真岡市が一体となる**

**⇒こういった活動を通して、**
**商業的にもブランディングを確立**

いちご王国栃木の首都
もおか
真岡市